

## アドベント（待降節）

校長 大岩 厚

11月17日の夕刻、本校チャペルでクリスマスツリー点灯式を行いました。ハンドベルの音色が響く中、薄暗闇の中でツリーに明かりが灯ると、その柔らかな光は私達の心を明るくする希望の光にも感じられました。

クリスマスツリーの起源はドイツと言われています。多くの場合、冬でも葉を落とさない常緑樹であるモミの木が使われます。木の形も、三位一体（神様と子なるイエスキリストと聖霊）を考えた時、三角形の形状がふさわしく、モミの木が使われる理由とされています。また、クリスマスツリーに光を灯すことを考えたのは、宗教改革を行ったマルティン・ルターだと言われています。ある夜、彼が礼拝の帰りに森の中を歩いている時、冷たい空気の中で、常緑樹の枝のすき間から見える星の美しさを感じました。それを自分の子供にも見せたい、という思いから、小さなモミの木を家の中に持ち込み、木が燃えないよう枝の先端に星の光をイメージした小さなろうそくを灯したのだそうです。

クリスマスが近づいて来ました。教会では、12月25日クリスマス直前の日曜日から数えて、4回前の日曜日をアドベント（待降節）のスタートとしています。今年は11月28日からになります。本校チャペルにも、アドベントクランツ（クリスマスリース）を設置し、4本のろうそくを準備して、一週間に一つずつ灯りを点けていきます。ですから、クリスマスには4本のろうそくに光が灯ることになります。

キリスト教の教えを大切にしている幼稚園での話です。「アドベントは嬉しいんだよ。アドベントって何だかわくわくするね。クリスマスをみんなで待とうね…」先生方が言いました。そこで、おにぎりが大好きな5歳の男の子が質問しました。「ねえねえ、アドベントって、どんなお弁当？」それを聞いた先生は、思わず微笑んでしまいました。5歳の彼にとって、「アドベント」は、「唐揚げ弁当」や「ハンバーグ弁当」と同じように、おなかを満たしてくれる、とてもおいしいそうなお弁当に思えたのでしょね。

イエス様の教えは、私達の心を希望の光で満たしてください。アドベントは、私達の救い主であるイエス・キリストの誕生を待ち望む、そのような時ですが、ただじっと待つのではなく、イエス様の深い愛に包まれている日々感謝して、その暖かい気持ちを分かち合いながら、クリスマスを迎えたいと思います。



12月行事予定

|            |                       |         |           |         |         |              |        |
|------------|-----------------------|---------|-----------|---------|---------|--------------|--------|
| 29<br>土    | 25<br>土               | 21<br>火 | 20<br>月   | 18<br>土 | 15<br>水 | 4<br>土       | 1<br>水 |
| 学校閉鎖（1月4日） | 高Ⅲ大学入試共通テストファイナル（26日） | クリスマス   | 冬期課外1（6日） | クリスマス礼拝 | 終業式     | 高ⅡGTEC 中学A入試 | 創立記念式典 |

高Ⅱ修学旅行説明会（参加者のみ）  
特進土曜課外



## 生徒修養会 — 松尾 献先生をお迎えして



11月11日(木)、本校の大切なキリスト教教育のプログラムである「生徒修養会」が行なわれました。主講師には、九州地区KGGK(キリスト者学生会)主事の松尾 献先生をお迎えし、「神様に従う生き方」のテーマのもと、聖書に表された、私達のことをすべて知って深く愛して下さる神様、そしてその神様を日々覚えて従う生き方、神様の愛に應える生き方の自由さについて、二回の講演によってお話しくださいました。

また、近郊の教会牧師・教会主事・宣教師の先生方をお迎えしてクラス別の時間をもち、聖書について、神様のことについて、キリスト教について、心の養いの時を持ちました。（文責：石村直義）

## クリスマスの準備、着々と

### クリスマス装飾づくり

11月15日(月)放課後に、各クラスの宗教委員、YWCA生徒により、リースやクランツなどのクリスマス装飾作りが行なわれました。

ヒバの枝の束から小枝を切り、ベースの輪に360度差し込んでくくりつけるとリース本体が出来上がります。それに赤いリボンを巻いたり、ベルや星、色付けされた松ぼっくりなどの飾りを付けて完成です。正面玄関、チャペルや会議室、施設の扉など、校内各所に掲げられました。



また、チャペル正面にはクリスマスツリー、チャペルロビーにはキリスト誕生の馬小屋のセットとツリーが置かれました。

今年のアドヴェント（待降節）は11月28日から始まりました。クリスマスまでの時を、感謝をもって歩みましょう。

### クリスマスツリー点灯式

11月17日(水)17時30分から、チャペルにおいてクリスマスツリー点灯式が行われました。YWCA生徒の司会により、オルガンの前奏に続き、イザヤ書60章1・2節の聖書朗読によって始まり、代表生徒3名と大岩校長により点灯、ハンドベル部による讃美歌「ひさしくまちにし」の献奏、聖書朗読、クリスマス讃美歌、学院長のメッセージが読まれ、祈りのうちに終わりました。クリスマスを待ち望む想いを共にしました。

ツリーのイルミネーションは、17時過ぎから22時まで点灯します。南門付近からも様子をご覧いただけます。（文責：石村直義）



## 今月の聖句

起きよ、光を放て。あなたを照らす光は昇り 主の栄光はあなたの上に輝く。見よ、闇は地を覆い 暗黒が国々を包んでいる。しかし、あなたの上には主が輝き出て 主の栄光があなたの上に現れる。

＜イザヤ書60章1・2節＞

チャペルのクリスマスツリーのイルミネーションは、夕闇迫る17時からきれいに点灯しています。誰もいないチャペルのステージに立つと、5色の光が降り注ぐように輝き、大きなツリーを独り占めしているような贅沢な思いにもなります。しかしながら、クリスマスの豊かな恵みは、すべての人々にもたらされた救いの祝福です。聖書の舞台である当時のユダヤの人々も、そして今を生きる人々も、心の内・外にある闇の支配に勝つことはできません。主イエス・キリストの光に照らされて、輝くことができます。クリスマスおめでとうございます。（文責：石村直義）

## 活水祭 限定開催も盛り上がる

10月30日(土)、本校を会場に2021年度の活水祭が開催されました(本年度はコロナウイルス感染対策として校内のみの行事と致しました)。発表内容は次の通りです。

〈チャペル〉吹奏楽部演奏、ダンス部の演技披露、平和学習部のスクリーンを使ったプレゼンテーション

〈大体育館〉新体操部の演技とダンスの発表

〈シオンホール〉ハンドベル部の演奏、音楽コースのコンクール上位入賞者の演奏

〈プレゼンルーム〉中学英語部の英語劇動画発表、高校放送部の絵本朗読、中学放送部の絵本朗読

〈校内各所の展示発表会場〉中学生の作品展示(書道・缶バッチ・英語日記・美術・社会科)、高校コーラス部樟Twinkle Starsの生演奏と演奏動画発表、高校美術部の作品展示、高校写真部の作品展示、文芸部の「羅針盤」誌配布とバックナンバー展示、華道部の作品展示、茶道部の作品展示

〈校内各所の展示発表会場〉中学生の作品展示(書道・缶バッチ・英語日記・美術・社会科)、高校コーラス部樟Twinkle Starsの生演奏と演奏動画発表、高校美術部の作品展示、高校写真部の作品展示、文芸部の「羅針盤」誌配布とバックナンバー展示、華道部の作品展示、茶道部の作品展示

のお茶会、高校軽音楽同好会の演奏動画発表

以上。

来年は公開行事になることを祈っています。(文責:山口真樹人)



## 中学弁論大会

11月18日(木)6校時に、シオンホールで中学弁論大会を開催しました。この弁論はひとりひとりが国語の授業の中で考えたものです。

各クラスの予選を突破した学年の代表3名ずつ、計9名が出場しました。代表者は大会に向けて毎日のように練習を重ねて大会に臨みました。熱のこもった弁論に涙を流して聞き入る生徒もいました。結果は、

第1位 2年 渡辺なお「世界の水」

第2位 3年 小島穂花「私の病気との闘い」

第3位 3年 戸村楓「いじめの加害者にこそカウンセリングを」

でした。(文責:津留美幸)

左から  
小島さん、  
渡辺さん、  
戸村さん



## 定期演奏会開かれる

11月6日(土)、チャペルで音楽コースの定期演奏会を行いました。今年度も1家族2名までという規制の下でしたが、保護者様をはじめ、日頃ご指導をいただいている先生方、また学校の先生方も聴きにきていただきました。Ⅲ年生7名は全員ソロで、Ⅱ年生はペアで演奏をしました。

また、合唱も披露しました。限られた中での演奏会でしたが生徒達はそれぞれの技術を立派に発表することができました。

プログラム最後には卒業生である宮部さんのトランペット、西田さんのクラリネットも披露していただき、生徒達にとっては大きな刺激となりました。

Ⅲ年生はいよいよ受験に向かい、自分との戦いの時期を迎えます。今回の演奏会で成長できた自分を信じて頑張ってくれることと思います。1月にはⅢ年生の終了演奏会があります。たくさんの方に聴きにきていただけたら幸いです。

(文責:杉町たまみ)



## マーチングコンテスト全国で銀

11月21日(日)、大阪城ホールを会場として開催された第34回全日本マーチングコンテストにおいて、本校吹奏楽部が銀賞を受賞しました。

10月に名古屋で行われた吹奏楽コンクールとともに、難関とされる九州代表として立て続けに挑戦して、成果を得ることになりました。

なお、これに先立つ11月9日(火)、大岩校長と中高吹奏楽部杉町顧問および代表生徒3名で長崎市長を表敬訪問しました。

## 生徒会役員

〈高校〉

|     |    |       |         |
|-----|----|-------|---------|
| 会長  | ⅡA | 川田仁胡  |         |
| 副会長 | ⅡC | 諫山紗英  | ⅠA 安元喜愛 |
| 書記  | ⅡA | 梅崎たまみ | ⅡD 深堀愛菜 |
| 会計  | ⅡA | 橋村果也乃 |         |
| 庶務  | ⅠA | 中野未彩  | ⅠC 岡安嶺奈 |

〈中学〉

|     |    |       |         |
|-----|----|-------|---------|
| 会長  | 二1 | 林咲奈   |         |
| 副会長 | 二1 | 松本彩希  |         |
| 書記  | 二1 | 曹結愛   | 二1 中村心優 |
| 会計  | 二1 | 元川真理子 |         |

## 災害をイメージして

11月5日(金)、全校で地震からの火災発生を想定した避難訓練を実施しました。校内での訓練ですので、学校の敷地内で災害が発生した時の対応確認が中心となりますが、この訓練を通して「防災意識」を高めて欲しいと考えています。防災意識を高めるためには、「実際の災害をイメージすることが必要です。例えば、「地震が起きたらこのガラスが割れて、廊下は通れなくなる」「このロッカーは倒れてくるな」などと考えていくことが、そのイメージをリアルにしてくれます。そして「生き残るため、命を守るため」にどのように行動すればよいかを考えて下さい。校内での短時間の訓練であっても、一度体験していると、ある程度できるようになるものです。

毎日防災について考える必要はありません。自宅、外出先、通学途中など、ふとした時にちょっとだけ「今、地震が来たらどうなるかな」とか「火災が起きたらどうなる」などを想像して、危険を避けるためには「どうする?」を考えておく、実際に災害が起こった時、慌てなくて済むようになるかもしれません。

(文責:増田康子)

## 高1、看護の現場を体験

「看護体験を通して」Ⅰ年A組 牧沙也加

私が中学2年生の時、新型コロナウイルスが大流行し、日常生活が一変しました。そのような中、医療従事者の使命感に支えられた働きを知り、看護師を志望するようになりました。

今回参加した活水女子大学看護学部見学では、実習用モデル人形の心臓の音を聴診器で聞いたり、校内を案内して頂きました。看護学部の学習環境はとても充実していました。

長崎医療センターでは、現役看護師たちのお話を聞き、救命救急と周産期母子センターを見学しました。「患者さんのため、看護師は考え続けなくてはならない。」という看護師の言葉が印象に残りました。

患者が不安で辛い時、寄り添い支えるためには不可欠なことなのだと感じました。看護師を目指す私にとって、有意義であつという間の1日でした。

<10月25日(月)、長崎医療センター:居住型分娩室>



## 大会等成績

〈音楽〉

日本クラシック音楽コンクール地区本選会  
優秀賞 三浦蓮月

全日本学生音楽コンクール北九州大会

声楽部門高校の部 入選 田川美桜

ピアノ部門高校の部 入選 松本英姫

シヨパン国際ピアノコンクールin ASIA地区大会

福岡 高校生部門 銀賞 中武愛佳

全九州高等学校音楽コンクール

声楽部門 金賞 及びグランプリ賞 早川綾乃

ピアノ部門 金賞 松本英姫

〈放送〉

長崎県高等学校総合文化祭

九州高校放送コンテスト長崎県大会

アナウンス部門 優秀賞 渡辺あい、

朗読部門 優良賞 浅井滯奈

〈写真〉

長崎県高等学校総合文化祭写真展

優良賞 作品名「ひと息」 田中志帆

〈馬術〉

オータムホースショー 第9競技

クロス障害飛越競技 第3位 原口萌々夏

ながさき県民総合スポーツ祭長崎県民体育大会

少年の部クロス障害飛越競技

第1位 安元喜愛、第2位 原口萌々夏

低障害飛越競技

第1位 安元喜愛、第2位 原口萌々夏

小障害飛越競技 第1位 安元喜愛

〈新体操〉

長崎市中学校新人大会 新体操競技 個人総合

優勝 朝長陽稀

第2位 平井彩摘 第3位 久米つづり

長崎県高等学校新人体育大会 新体操 個人総合

第3位 野元颯夏

〈バドミントン〉

長崎県高等学校新人体育大会バドミントン競技

女子団体 第3位

〈サッカー〉

第18回全日本女子フットサル選手権大会

長崎県大会U-18 第3位

(文責:山口真樹人)